給与支払報告書（個人別明細書）作成の注意点

★左上に「⑦給与支払報告書（個人別明細書）」と記載された様式をご利用ください。
★詳細については、国税庁発行の「令和6年分給与所得の源泉徴収票等の法定調書の作成と提出の手引」等でご確認ください。
★本紙に記載されたア～カについては、同封のA3版チラシP.4「提出前チェック項目」と結びついています。
（裏面「確認書類貼付台紙」として切り取りする前にご確認ください。）

＜記入例＞　※現物はA5サイズ

見本

⑦ 給与支払報告書（個人別明細書）

※	※種別	※整理番号	※

支払を受ける者	住所又は居所	※区分	
	イ 前橋市本町○-○-○	(受給者番号)	00000123-123
		(個人番号)	9 8 7 6 5 4 3 2 1 0 9 8
		(役職名)	ア
		氏名	(フリガナ) マエバシ　カズオ 前橋　一男

種別	支払金額	給与所得控除後の金額（調整控除後）	所得控除の額の合計額	源泉徴収税額
給与	円 9 000 000	円 7 000 000	円 4 886 000	円 0

(源泉)控除対象配偶者の有無等		老人	配偶者(特別)控除の額	控除対象扶養親族の数（配偶者を除く。）								16歳未満扶養親族の数	障害者の数（本人を除く。）			非居住者である親族の数
				特定		老人			その他				特別		その他	
有	従有		円 260 000	人 1	従人	円 1	人 1	従人	人 1	従人	人	人 2	円 1	人 1	人	人 1

社会保険料等の金額	生命保険料の控除額	地震保険料の控除額	住宅借入金等特別控除の額
円 276 1,276 千 000 円 000	千 120 円 000	千 10 円 000	千 113 円 900

実際に**所得税から控除された金額**を記入。

（摘要）
エ
・源泉徴収時所得税減税控除済額180,000円、控除外額0円
・非控除対象配偶者減税有
・前職　前橋市本町○－○－○　㈱群馬　R6.3.31退職
支払金額　1,500,000円　社会保険料120,000円　源泉税額50,000円

ウ 普D

イ 住民登録地：高崎市○○町○丁目○番地

生命保険料の金額の内訳									
新生命保険料の金額	円 100,000	旧生命保険料の金額	円 42,000	介護医療保険料の金額	円 95,000	新個人年金保険料の金額	円 52,000	旧個人年金保険料の金額	円 120,000

オ 住宅借入金等特別控除の額の内訳									
住宅借入金等特別控除適用数	1	居住開始年月日(1回目)	年 5	月 12	日 3	住宅借入金等特別控除区分(1回目)	住	住宅借入金等年末残高(1回目)	円 25,000,000
住宅借入金等特別控除可能額	円 250,000	居住開始年月日(2回目)	年	月	日	住宅借入金等特別控除区分(2回目)		住宅借入金等年末残高(2回目)	円

カ (源泉・特別)控除対象配偶者					
(フリガナ)	マエバシ　ハナコ	区分		配偶者の合計所得	円 1,100,000
氏名	前橋　花子			国民年金保険料等の金額	円
個人番号	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2			基礎控除の額	円
				旧長期損害保険料の金額	円
				所得金額調整控除額	円 50,000

所得金額調整控除の適用がある場合には、所得金額調整控除の額を記入してください。

控除対象扶養親族				16歳未満の扶養親族			
	(フリガナ)	氏名	個人番号		(フリガナ)	氏名	個人番号
1	マエバシ　イチロウ	前橋　一郎	2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3	1	マエバシ　ハルコ	前橋　春子	7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8
2	マエバシ　ジロウ	前橋　二郎	3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4	2	マエバシ　ナツコ	前橋　夏子	8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
3	マエバシ　サブロウ	前橋　三郎	4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 区分 01	3			
4				4			

5人目以降の控除対象扶養親族の個人番号

5人目以降の16歳未満の扶養親族の個人番号

未成年者	外国人	死亡退職	災害者	乙欄	本人が障害者 特別	本人が障害者 その他	寡婦	ひとり親	勤労学生
					○				

中途就・退職 就職	退職	年	月	日	受給者生年月日 元号	年	月	日
○		6	4	1	ア 昭和	50	1	1

該当する項目があれば○をつけてください。

支払者		
個人番号又は法人番号	5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6	（右詰で記載してください。）
住所(居所)又は所在地	前橋市大手町○－○－○	
氏名又は名称	前橋　太郎	（電話）027-000-0000

（市区町村提出用）

ア **給与の支払を受ける方（従業員）**の氏名・フリガナ・生年月日・個人番号を記入してください。

イ **令和7年1月1日現在の住所**（住民登録地）を記入してください。前橋市に住民登録はないが前橋市に居住していて、前橋市課税を希望する場合、前橋市の居所を記載し、摘要欄に住民登録上の住所を記載してください。

ウ 普通徴収に該当する場合は、該当する符号を記入してください。**符号が無い場合、特別徴収と判断することがあります。**

オ 住宅ローンの控除適用判定に使用します。該当する場合は必ず記入し、特別控除区分を間違えずに記入してください。
※記入の無い場合や特別控除区分が「（増）」の場合は住民税に適用できません

配偶者の**合計所得（収入額ではありません）金額**を記入してください。

エ (1)所得税の定額減税において、**実際に控除した年調減税額と、年調減税額のうち年調所得税額から控除しきれなかった金額を**記入してください。
摘要欄には、定額減税に関する事項を最初に記載するなど、書ききれないことがないよう留意してください。
(2)同一生計配偶者を有し、定額減税において扶養人数に含めた場合は「非控除対象配偶者減税有」と記入してください。同一生計配偶者が障害者、特別障害者及び同居特別障害者に該当する場合は「配偶者氏名(同配)」と記載してください。
(3)前職分の給与を含む場合は、**摘要欄に前職分の給与支払者名・支払金額・社会保険料額・源泉徴収税額を必ず記入してください。**
※記入漏れがあると給与の二重計上など重複課税となります。記入忘れのないようご注意ください

カ 扶養親族の氏名・フリガナ・個人番号を（16歳未満の扶養親族についても個人番号を）記入してください。